

施設概要

事業主体	能勢町
施設名称	能勢町し尿処理施設
所在地	大阪府豊能郡能勢町下田119-31
処理方式	前脱水希釈放流方式
処理能力	19kL/日 (し尿:8kL/日、浄化槽汚泥:11kL/日)
敷地面積	5,787.11m ²
建築面積	511.26m ²
延床面積	1,118.79m ²
竣工(建設)	平成24年3月
竣工(改造)	令和 8年3月

放流水質

	下水道受入基準	管理目標値
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量	380mg/L未満	304mg/L未満
水素イオン(pH)	5~9	5~9
生物学的酸素要求量(BOD)	600mg/L未満	480mg/L未満
浮遊物量(SS)	600mg/L未満	480mg/L未満
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(n-Hex)	鉱油類含有量	5mg/L以下
	動植物油脂類含有量	30mg/L以下
窒素含有量(T-N)	240mg/L以下	194mg/L以下
燐含有量(T-P)	32mg/L未満	26mg/L未満

施設改造の経緯

能勢町内の人口減少、下水道普及による搬入物量減少に伴い、施設を下水放流処理方式へ改造を行いました。町内の生活排水処理の合理化、施設維持管理費の節減を図っています。

施設の特徴



し尿・浄化槽汚泥を脱水し、ろ液を下水道に放流

1日19kLのし尿と浄化槽汚泥を固液分離後、下水道受入基準の水質まで希釈し、下水道に放流します。



資源化の取り組み

し尿と浄化槽汚泥を汚泥脱水機により含水率70%以下まで脱水します。脱水汚泥は助燃剤としてごみ処理施設で有効利用されます。



環境に配慮した設備

生物脱臭方式と薬液脱臭方式、活性炭吸着方式を組み合わせた脱臭システムの採用により、臭気対策も万全です。更新後の汚泥脱水機は防音ボックス内に設置しており、周辺環境への騒音対策も万全です。



中央集中監視による運転管理

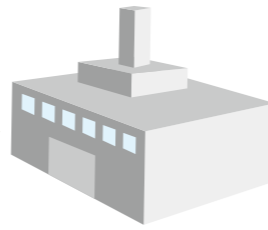
効率的で安定した施設管理を行うため、各機器は自動制御されており、運転データを自動で収集・記録します。

助燃剤の有効利用

し尿・浄化槽汚泥は汚泥脱水機で助燃剤にします。助燃剤とは含水率70%以下の脱水汚泥のことで、ごみ処理施設で有効利用されます。



助燃剤



ごみ処理施設

主要設備

受入貯留設備

来場したバキューム車は搬入計量機で搬入物量を計測します。し尿・浄化槽汚泥は、受入室の受入口から投入され、砂・小石等を除去した後、破砕ポンプにより貯留槽へ移送します。



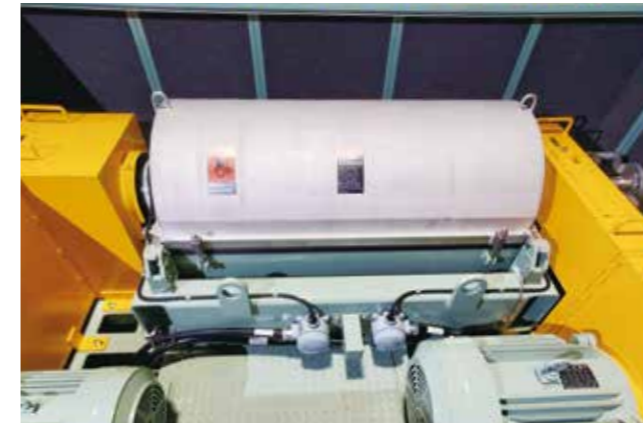
搬入計量機



受入室

資源化(前脱水)設備

し尿・浄化槽汚泥は、汚泥脱水機(高効率遠心脱水機)で含水率70%以下まで脱水します。



汚泥脱水機(本体)



汚泥脱水機(防音ボックス)

脱臭設備

各所から発生する臭気を高濃度脱臭塔、中濃度洗浄脱臭塔、活性炭脱臭塔により脱臭処理します。



活性炭脱臭塔

中央監視室

中央監視室には、各設備機器の運転状況や各種計測データ等を表示する監視装置を設け、集中監視しています。



中央監視室

フローシート（し尿・浄化槽汚泥の流れ）

